

令和6年度 新潟市立大淵小学校 学校経営の基本方針

新潟市立大淵小学校
校長 飯原 清仁

◎安全・安心で笑顔と活力のある、子ども、保護者、地域から信頼される学校

【目指す学校の姿】	【目指す子どもの4つの姿】	【目指す教職員の姿】
○子どもも教職員も「達成感」と「自己存在感」を実感できる笑顔と活力のある学校 ○安全・安心で、子ども、保護者、地域から信頼される学校	○かしこい淵っ子：友達とかかわり合い、自分の考えを深める子ども ○ゆたかな淵っ子：互いに認め合い、支え合う子ども ○げんきな淵っ子：自分から進んで運動し、生活習慣を整える子ども ○かがやく淵っ子：学ぶ喜びを感じながら学校生活を送る子ども	○やりがいを持ち、ワークライフバランスを図りながら、コミュニケーション、同僚性、協働性を発揮することができる教職員 ○子ども一人一人の個性を認め、進んで声を掛け、寄り添い、褒め、励ます教職員

【教育目標】

かしこく 豊かで 元気な子

【今年度の重点目標】

仲間とともに力を発揮する子ども

令和6年度の方策

【育む資質・能力】

- 1 学びに向かう力、生きてはたらく知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成
※学習の基盤となる資質・能力（言語能力・情報活用能力・課題発見解決能力）の育成
- 2 仲間とともに（他者との協働）、粘り強く問題解決を図る能力の育成
- 3 自己指導能力（個性の伸長・自己決定・望ましい生活習慣の確立）の育成

【重点となる教育活動】 ◎3つの基盤（カリキュラム・マネジメント、教育DX化に伴うICT利活用、コミュニティ・スクール）を生かした教育活動の推進

- 1 確かな学力の育成
 - ・校内研修の推進（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、GIGAスクール推進）
 - ・分かる授業、主体的・対話的で深い学びのある授業の実践
 - ・考え、議論する道徳授業の充実
 - ・授業と家庭学習の関連による家庭学習習慣の定着
- 2 自律性と社会性を育む生徒指導
 - ・全ての子どもたちの「自分らしさ」が発揮され、「可能性を引き出す」教育の推進
 - ・いじめや差別、偏見をしない・許さない学校づくりと人権教育・同和教育の推進
 - ・良好な人間関係づくりと、安全・安心で一人一人の居場所がある温かい学級や学校づくり
 - ・自己肯定感、自己存在感を高める豊かな体験活動や支援の充実
 - ・情報モラル指導、適切なタブレット端末、ネット利用の推進
- 3 インクルーシブ教育の視点に立った特別支援教育
 - ・UDLの視点を取り入れた基礎的環境整備とLITALICOの導入による子ども一人一人に応じた合理的配慮の提供
- 4 その他
 - ・特別活動（学級活動・児童会活動・学校行事）を中核とした教育活動の活性化
 - ・不登校及び不登校傾向児童への適切な支援と関係機関との積極的な連携
 - ・運動環境の整備や楽しさを知る取組と望ましい生活習慣の確立による健康と体力の向上
 - ・地域と学校パートナーシップ事業を通じたキャリア教育の推進と郷土愛の醸成
 - ・コミュニティ・スクールのさらなる協働・発展
 - ・小中一貫教育の推進

目指す子どもの姿「学び合い 心豊かにたくましく 地域を担う 大江山の子」

【運営活動の改善】

- 1 「ねらい」「育てたい力」「目指す子どもの姿」を明確にした教育活動の推進
- 2 「報告・連絡・相談・確認」と「迅速かつ適切なチーム（組織）対応」の徹底
- 3 「時間（労力）対効果」の視点からの業務の一層の効率化、見直し、やめる決断の推進